

## 第2学年 国語科学習指導案

【研究主題】 夢と志をもち、ともに未来を切り拓く児童の育成  
 ～教育活動全体を通して、「学び合い」を楽しむ児童を育てる～

【研究の仮説】

児童が友達との学び合いの中で「伝えたい」「聞きたい」と思える手だてを講じ、教育活動全体を通して児童の発信・受信力を高め、相手とともに学ぶことの意義を知ること、他と関わりながら主体的に生きようとする気持ちを育むことができるだろう。

1 単元名 せつめいのしかたに気をつけて読み、それをいかして書こう  
 教材名 おもちゃの作り方をせつめいしよう（光村図書）

2 単元の目標

- ・ 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。
- ・ 事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。
- ・ 事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。

3 単元の評価規準と学習活動に即した評価規準

	ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	・ 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	・ 「書くこと」において、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 ・ 「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。	・ 事柄の順序に沿って粘り強く構成を考え、学習課題に沿って「おもちゃの作り方」を説明する文章を書こうとしている。また、思いや考えを伝え合おうとしている。
活動に即した具体的な評価規準	① 順序が分かる言葉を基に、馬のおもちゃの作り方の手順を捉えている。 ② 順序が分かる言葉を使って、おもちゃの作り方を分かりやすく説明する文章を書いている。	① 順序を考えて教材文を読み、文のまとまりを捉えながら説明の工夫を読み取っている。 ② 説明の順序に沿って、構成を考えながら文章を書いている。 ③ 文章を読み返し、分かりづらいところを書き直すなど文章をよりよくしている。 ④ 友達と書いた説明を読み合い、説明の工夫を見付け感じたことを伝えている。	① 「おもちゃの作り方」の説明の仕方に関心をもち、進んで分かりやすい説明を書いている。また、思いや考えを伝え合おうとしている。 ② 学習したことを生かし、順序を意識して、粘り強く分かりやすい説明を書こうとしている。また、思いや考えを伝え合おうとしている。

## 4 単元とその指導について

### (1) 教材観

本単元では「馬のおもちゃの作り方」の説明から、手順を示す文章の書き方を学習する。そこでの説明の工夫を使って、実際に説明する文章を書くことで、理解を定着させていく。また、生活科「作ってあそぼう」の学習と関連付けて単元を計画することで、実感を伴って意欲的・主体的に説明する文章を書いたり、読み合ったりするようにした。さらに、おもちゃが仕上がるかどうかで、正しく文章が書けているかや、読み取れているかがはっきり分かるため、学び合いを通して、何度も確かめながら説明する文章を読み、より良い文章へと高めていく。

### (2) 児童観

本学年の児童は、1学期から朝読書や図書の時間を使って、たくさんの本に親しんできた。また図書リストの作成を通して、学習と関連付けて読んできた図書を後から調べる材料として活用する方法を学んできた。そして、学校図書館司書と連携して学習と関連した読み聞かせや音読の家庭学習、単元と関連した図書をすぐ手に取れるように読書環境を整備したことで、図書を活用して学習していく力を養ってきた。

「たんぼのちえ」では「時間の順序」「問いの文」「理由の文」に着目して、説明文を読むときのきまりを学習した。また「どうぶつ園のじゅうい」では「時間の順序」に気を付けて説明文を読んできた。本単元では、読み取りで身に付けた「時間の順序」に気を付けて読む力を生かして、作り方の手順を順序立てて説明できる力を伸ばしていきたい。

### (3) 指導観

小学校学習指導要領解説国語編には、本単元に関する内容として、第2章第一節2(2)ア、B(1)イ、C(1)アに位置付けられている。また、生活科「作ってあそぼう」に関連して指導していくものである。

指導にあたっては、単元全体を通して「来年の2年生へむけて、オリジナルのおもちゃのせつめいブックを作ろう」というめあてを設定することで、目的意識を明確にもたせ、児童の学習意欲を高めていく。また、学び合いの場面を設定し、友達のよさを発見できるようにすることで、どの順番で、どのように表現すれば分かりやすく説明できるのかといった「手順の順序」に注意して、学習できるようにしていく。

## 5 研究主題との関連

### (1) 目指す児童像

- 自分の考えを、思いを込めて伝えられる児童
- 友達の考えに興味をもって聞ける児童
- 発信したり受信したりしたことから自分の考えを再構築できる児童

低学年の目指す児童像

学習したことをもとに、「もっと知りたい、学びたい」と探究する児童

### (2) 研究主題に迫るための手だて

低学年における手だて

- ①読書環境の整備
- ②友達との交流活動を取り入れる
- ③より探求心を刺激する場の設定を工夫する

① 読書環境の整備

単元の学習が始まる前から、生活科のおもちゃ作りの学習と並行しておもちゃ作りに関する本を読み、自分が興味をもったおもちゃの作り方を、図書リストへ記録してきた。この図書リストを活用して、本を厳選したり、材料を集めたりし、おもちゃ作りを行ってきた。

また、学校図書館司書におもちゃ作りに関する本を集めてもらい、学級文庫として置くことで、教室の読書環境を整えた。児童が数多くの本の中から興味のあるおもちゃを選ぶことで、学習意欲を高められるようにしていく。

常時活動としては、音読の宿題の詩を学校図書館司書に季節や行事に合わせて選定してもらっている。週末にはそれを読んだ感想を書き、作文名人を取り上げ、発表する活動を行っている。

② 友達との交流活動を取り入れる

「声のものさし」を掲示したり、話型を提示したりすることで、交流活動の環境を整えている。また、朝の会や帰りの会などで意見を発表する時に、理由を明確にして話す活動を取り入れている。このことにより、みんなの前で発表できる素地や、友だちの考えを聞く態度を養っている。

本単元では、どのような表現をしたら相手にわかりやすく伝わるのかを意識して学習に取り組むようにする。まずは、個で見通しをもてるようにする。そのために、友だちとの読み合いの活動を通して、自分の表現のよさに気付いたり、加除修正をしたりして、表現力、想像力を高めさせたい。交流活動を積み重ねていくことで、より伝わりやすいおもちゃの説明書を仕上げることができると考える。

③ より探究心を刺激する場の設定を工夫する

他学年との交流が少ない状況で、伝えたい相手を考えた時に、同じ2年生へ向けて各クラスオリジナルの「おもちゃ説明書」を作るというめあてを設定した。このめあてにより、次年度の2年生がおもちゃ作りをするときに使える説明書を作るために、どのような表現をしたらよいかという相手意識を具体的にもつことができる。ただ、おもちゃを作るのではなく、おもちゃ作りの説明書を書くという目的意識をもつことが、相手にわかりやすい表現を考えたり、友だちはどう書いているのだろうと興味をもったりと、「もっと知りたい、学びたい」と探究心を刺激することにつながる。と考える。

6 指導計画（14時間扱い） ※下線部は児童が考えを学び合う場面

次	時	○主な学習活動	◇支援と留意点 [評価規準] (評価方法)
一	1 2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     学しゅうのめあてをつくり、学しゅうのすすめかたをたしかめよう。                 </div> ○「せつめいのしかたに気をつけて読み、それをいかして書こう」という単元のめあてをつかみ、学習の見通しをもつ。	◇扉のリード文や写真を手がかりに、自分で作ったことのあるおもちゃを紹介し合い、学習の意欲を高める。 [主] ウ① 「おもちゃの作り方」の説明の仕方に関心をもち、進んで分かりやすい説明を書いている。また、思いや考えを伝え合おうとして
		<div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     来年の2年生へむけて、オリジナルのおもちゃせつめいブックを作ろう。                 </div> ○自分が説明するおもちゃを探す。	

			いる。(発言・記述)
二	3 5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">作り方のせつめいのくふうを見つけよう。</div> <p>○実際に馬のおもちゃを作りながら教材文を読み、説明の工夫を見付ける。</p>	<p>◇順序や数を表す言葉、写真や図、文のまとまりなどに着目できるようにする。</p> <p>[知・技] ア① 順序が分かる言葉を基に、馬のおもちゃの作り方の手順を捉えている。(発言・記述)</p>
	6	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">せつめいのくふうをしょうかいし合おう。</div> <p>○説明の工夫を紹介し合う。</p>	<p>◇友達の見付けた工夫も生かしていくように助言する。</p> <p>[思・判・表] イ① 順序を考えて教材文を読み、文のまとまりを捉えながら説明の工夫を読み取っている。(発言・記述)</p>
三	7 8	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">せつめいするおもちゃをきめ、ざいりょうやどうぐを考えよう。</div> <p>○「おもちゃの作り方」の説明を書く学習への見通しをもつ。</p> <p>○説明するおもちゃを決め、必要な材料や道具を考える。</p>	<p>◇前時までの学習を生かすことを意識させ、「がくしゅうのすすめ方」を手がかりに、学習の見通しをもてるようにする。</p> <p>[知・技] ア② 順序が分かる言葉を使って、おもちゃの作り方を分かりやすく説明する文章を書いている。(記述)</p> <p>◇誰に作り方を説明するのかを明確にし、相手意識をもつようにする。</p> <p>[思・判・表] イ② 説明の順序に沿って、構成を考えながら文章を書いている。(記述)</p>
	9 10	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">えらんだおもちゃのつくりかたのせつめいのしかたを考えよう。</div> <p>○選んだおもちゃの作り方の説明の仕方を考える。</p>	<p>◇「馬のおもちゃの作り方」や「けん玉の作り方」で見付けた説明の工夫を確認するよう促す。</p>

		<p>[思・判・表] イ③</p> <p>文章を読み返し、分かりづらいところを書き直すなど、文章をよりよくしている。(観察・記述)</p>
11 1 組 ・ 本 時	<p>おもちゃの作り方をわかりやすく書こう。</p> <p>○選んだおもちゃを説明する文章を書く。</p>	<p>◇説明の順序に気を付けて書くよう助言する。</p> <p>◇ここまで確認してきた説明の工夫を使って書いているかを確認めるようにする。</p> <p>[知・技] ア②</p> <p>順序が分かる言葉を使って、おもちゃの作り方をわかりやすく説明する文章を書いている。(記述)</p> <p>[思・判・表] イ④</p> <p>友達と書いた説明を読み合い、説明の工夫を見付け感じたことを伝えている。(観察・発言)</p>
12	<p>書いたせつめいを読みなおしながらおもちゃを作り、文しょうを見なおそう。</p>	
13	<p>○書いた文章をもとにおもちゃを作ってみて、文章の見直しをする。</p>	
14 2 組 ・ 本 時	<p>友だちと書いたせつめいを読み合い、くふうしているところを見つけよう。</p> <p>○<u>完成した説明文を読み合って感想を伝え合い、学習を振り返る。</u></p>	<p>◇順序などの説明の工夫を観点に感想を伝え合い、自分の文章の良いところを気付くことができるようにする。</p> <p>[主] ウ②</p> <p>学習したことを生かし、順序を意識して、粘り強く分かりやすい説明を書こうとしている。また、思いや考えを伝え合おうとしている。(観察・記述)</p> <p>[思・判・表] イ④</p> <p>友達と書いた説明を読み合い、説明の工夫を見付け感じたことを伝えている。(観察・発言)</p>

7 本時の学習（本時 11 / 14）

第2学年1組 26名 授業者

(1) 本時の目標

○おもちゃの作り方が分かるように、順序を意識して説明を書くことができる。

(2) 本時の評価規準

順序が分かる言葉を使って、おもちゃの作り方を分かりやすく説明する文章を書いている。

(3) 本時の展開 ※下線部は児童が考えを学び合う場面

時	○主な学習内容 ・考えられる児童の反応	◇支援と留意点 [評価規準] (評価方法)
	○前時までの学習を振り返り、本時の学習のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">おもちゃの作り方をわかりやすく書こう。</div>	◇前時の学習内容を振り返り、本時の確認をする。
5	○前時までに書いた、ワークシートを見ながら、作り方を書く。 ・順序を表す言葉を入れると分かりやすい文章になる。 ・分かりやすく書くのは難しい。	◇順序が分かる言葉を板書し、順序を意識づけるようにする。 ・まず～ ・つぎに～ ・それから～ ・さいごに～ ・これで～ ◇順序を意識して書いていない児童には、正しい順序で書かないと作ることができないことに気付くようにし、順序が分かる言葉を使って書くように促す。 [知・技] ア① 順序が分かる言葉を使って、おもちゃの作り方を分かりやすく説明する文章を書いている。(記述)
20	○ <u>ここまでに書いた〈作り方〉を交換して読み合い、感想を伝え合う。</u> ・順序の言葉を使っていて分かりやすかった。 ・これならおもちゃが作れそうだなと思った。 ・そのおもちゃを作ってみたくなった。	◇班に分かれて、互いの文章を読み合い、分かりやすい順序で書いてあるか、使っている言葉は分かりやすいかを伝え合うよう促す。 ◇話型を活用して感想を伝えようとする意識をもつようにするとともに、聞こうとする心構えを大切にしながら、積極的な交流ができるようにする。
40	○本時の学習を振り返り感想を書き、全体で交流をする。 ・順序が分かる言葉を使うと、説明する文章が分かりやすくなった。	◇交換して読んだ友達の〈作り方〉で分かりやすく書けていた人を全体で紹介させる。 ◇選んだおもちゃの作り方を分かりやすく書くことができたか、友だちの文章を読んで気付いたことなどを書くようにする。

十一月二十七日(金)

おもちゃの作り方をせつめいしよう

めあておもちゃの作り方をわかりやすく書こう

〈作り方〉

じゆんじよがわかることば

・まず ・つぎに ・それから

・さいごに ・これで

読みあい

・じゆんじよがわかることばをつかっていて、  
わかりやすかった。

・これならおもちゃが作れそうだなと思った。

かんそう

・じゆんじよがわかることばをつかうと、

せつめいする文しようがわかりやすくなった。

7 本時の学習（本時 14 / 14）

第2学年2組 28名 授業者

(1) 本時の目標

○友達と説明を読み合い、説明を工夫していると感じたところについて伝えることができる。

(2) 本時の評価規準

友達と書いた説明を読み合い、説明の工夫を見付け感じたことを伝えている。

(3) 本時の展開 ※下線部は児童が考えを学び合う場面

時	○主な学習内容 ・考えられる児童の反応	◇支援と留意点 [評価規準] (評価方法)
	○本時のめあてを確認する。 友だちと書いたせつめいを読み合い、くふうしているところを見つけよう。	
5	○ <u>これまでに書いてきた「○○の作り方」を読み合い、感想を伝え合う。</u> ・順序が分かる言葉を使っているから、分かりやすい。 ・写真と説明の文があっている。	◇説明の工夫を見付けられるように、良いところを伝えるようにする。 ◇感想を伝えられない児童には、説明の分かりやすかった部分を尋ね、理由を聞いて説明の工夫に促す。 ◇タブレットを活用して、発表を行う。 [思・判・表] イ④ 友達と書いた説明を読み合い、説明の工夫を見付け感じたことを伝えている。(観察・発言)
30	○ <u>友達の良いところを全体で確認する。</u> ・ああ、本当だ！分かりやすいね。 ・私もまねしてみたい。	◇児童のタブレットの画面を提示機に投影し、全体共有ができるようにする。
40	○学習を振り返り、まとめる。 ・友だちの良いところをたくさん見付けられました。 ・順序が分かる言葉を、他の勉強にも使っていきたい。	◇自分の書いた説明の良いところについて、他者評価を踏まえて自己評価し「できるようになった」という実感をもつようにする。 ◇学習を今後に生かしていけるようにする。

十一月二十七日(金)

おもちゃの作り方をせつめいしよう

めあて 友だちと書いたせつめいを読み合い、くふうしているところ

を見つげよう

へすめ方

- ① あいさつ
- ② はっぴようする
- ③ 友だちのよいところやかんそうをつたえる

工夫しているところ

・じゅんじよがわかることばをつかっていて、  
わかりやすかった。

・しゃんとせつめいの文があつていてよかった。

・どんなことに気を付ければよいのが、わかりやすかった。

かんそう

・じゅんじよがわかることばを、

ほかのべんきようにもつかつていきたい。